

勝海舟記念館企画展

# 瓦解前夜

—有志たちが伝える海舟—

令和4年  
3月18日(金) - 6月26日(日)



## 大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

■開館時間 午前10時～午後6時

※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く  
3月14日(月)～17日(木)は展示替えのため休館

■入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)

■所在地 東京都大田区南千束2-3-1

■電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。





# 企画展 瓦解前夜 -有志たちが伝える海舟-

令和4年3月18日(金)―6月26日(日)

アメリカで見識を広め、軍艦奉行として幕府海軍の整備にまい進した海舟でしたが、元治元(1864)年11月に罷免されてしまいました。これは、公武合体派(幕府、薩摩藩ほか)と尊王攘夷派(長州藩ほか)とが対立を深め、諸外国からの圧力が強まる中、幕臣でありながら諸藩の活動家と広く関わりをもち、徳川将軍家と有志大名とを交えた国政運営を主張した海舟を、老中・阿部正外らが危険視したためとされています。罷免された海舟でしたが「悠然」として天下の諸士との連絡をたもち、日本国内を瓦解から救う方策を模索しながら、再起の時を待ったのでした。

本展では、第一次長州戦争に向かう元治元(1864)年前後、海舟が幕府と諸藩の垣根を越えて精力的に活動していた様子を、初公開資料6点をまじえて展覧します。のちに「江戸無血開城」のキーパーソンとなる薩摩藩士の大島吉之助(西郷隆盛)・大久保一蔵(利通)との関係を示す文書や、老中・阿部正外への期待がにじむ海舟の書状草稿、神戸海軍操練所における坂本龍馬の活動を示す資料など、必見です。

海舟だより  
第13号

なんと!  
紙幅4m超!

## 長藩歎願書草稿

文久3(1863)年8月18日の政変で、長州藩を中心とする尊攘激派が失脚。その翌月、長州藩士・桂小五郎が在京中の海舟を訪問しました。その際に桂が持参したものです。主君である長州藩主・毛利家の立場を釈明する内容が記されています。

## ミュージアムグッズ 「勝茶」新発売!



海舟とゆかりのある静岡県牧之原産の緑茶をティーバッグに詰めた商品です。

芳醇な香りと苦みの少ないまろやかな味わいをお楽しみいただけます。

当商品は、18歳以上の主に知的障がいをお持ちの方が通所・作業している大田区立志茂田福祉センターとのコラボ商品で、勝海舟記念館のほか、志茂田福祉センター及びおおむすび連絡会の販売会などでもお求めいただけます。

「勝茶」1袋(5g×3P入り)200円(税込)

先着150個!

粗品がもらえる  
キャンペーンも実施中!  
詳細はHPへ



達成

【勝海舟生誕200年記念】

「勝海舟の”家族展”を実現させたい!  
プロジェクト

寄附金額5,973,000円

達成率199.1%

令和3年10月から12月末まで実施していた本プロジェクトのクラウドファンディングは、皆さまからのご支援により目標金額300万円を達成することができました。

ご寄附と共に当館を応援して下さる温かいメッセージもお寄せいただき、心より厚く御礼申し上げます。賜りましたご寄附は大切に使用させていただきます。

2023(令和5)年の海舟生誕200年メモリアルイヤーに向け皆さまのご期待にこたえていけるよう、取り組んでまいりますので、引き続き応援よろしくお願ひ致します。

勝海舟基金へのご寄附は現在も募集中です

記念館資料の購入や修復等のために  
使用させていただいております。

〈ふるさと納税対象〉



## ぶらりスポット

## ポートハウス 野鳥写真展



洗足池駅の正面にあるポートハウスでは、カメラマンの渡辺健三さんが長年に渡って洗足池で撮影した約100種類の野鳥の写真を楽しめます。中には、カワセミやフクロウも!

鳥たちの「恋の季節」である春の初めには、耳を澄ますと歌うような鳴き声が聞こえてきたり、池の畔ではカモの求愛ダンスがみられるかも。

公益社団法人洗足風致協会

ポートハウス 休憩所:無料

東急池上線「洗足池」駅徒歩1分

9:00~17:00

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限を行っています。  
最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



公式ツイッター



ホームページ



インスタグラム

発行:大田区立勝海舟記念館  
令和4年2月発行